

# 脳神経内科

## 研修の特色

神経所見の取り方や診察、および画像診断を中心とする検査の基本的な知識と技術を習得し急性期および慢性期の薬物治療と機能回復のためのリハビリテーションの方法を理解する。具体的には以下の通りである。

### 1. 脳神経内科疾患の基本的診察法

- 病歴聴取および一般理学的所見の取り方
- 神経学的所見の取り方、記載の仕方  
(意識、高次脳機能、運動麻痺、感覚障害、不随意運動、髄膜刺激徴候など)

### 2. 脳神経内科疾患に関する主な検査の手技と結果の解釈

- ① 頭部 CT、MRI 検査 (各種撮影方法の選択) ② 頸動脈エコー検査
- ③ 核医学検査 (検査法の選択) ④ 脳波検査 ⑤ 髄液検査 ⑥ 末梢神経伝導速度検査

【脳神経内科を専門とする人は、さらに】

- ⑦ 睡眠ポリソムノグラフィー検査 ⑧ 高次脳機能検査 ⑨ 経食道心エコー検査
- ⑩ 脳血管造影検査 ⑪ 自律神経機能検査

### 3. 脳神経内科疾患の治療

- ① 虚血性脳血管障害の薬物療法 (t-PA を含めた急性期、慢性期)
- ② リハビリテーションの依頼と目標設定 (理学療法、作業療法、言語療法)
- ③ てんかんの薬物療法
- ④ 髄膜炎の薬物療法

【脳神経内科を専門とする人は、さらに】

- ⑤ パーキンソン病の薬物療法
- ⑥ 認知症の薬物療法、介護支援指導
- ⑦ 慢性頭痛の薬物療法 ⑧ 免疫性神経疾患の薬物療法
- ⑨ 外科的治療が必要な症例の選択 (脳血管障害、正常圧水頭症、パーキンソン病)
- ⑩ 各種睡眠障害の治療 (不眠症を除く)

## 専攻医からのメッセージ

初期研修医から当院で研修しておりますが、陶生病院は若手の医師が病院の中心となって診療を実施している活気のある病院だと感じています。また、各科に相談しやすい風通しのよい環境も魅力であると感じます。脳神経内科では、脳卒中、てんかん、変性疾患、神経感染症、神経免疫疾患を幅広く診療しており、症例数も多いです。部長の先生方はとても熱心に指導して下さり、学会発表の機会もとても多く与えていただくことができます。是非、見学にきていただき、当科の雰囲気を感じ取っていただければと思います。